

労福協たより

2022年3月

第27号
発行責任者
小林 純一

富士宮市へ行政要望を提出しました!

2021年12月22日(水)、富士宮市役所において市に対し**行政要望書を提出**しました。市からは須藤富士宮市長のほか担当部署の代表、労福協からは小林会長、坪井副会長、馬飼野副会長、松村副会長、飯室事務局長、佐原事務局長の6名が参加しました。6月以降に各会員から要望を集約、**多くの要望事項から三役会・幹事会を経て以下の4項目に取りまとめたほか、静岡県労福協の掲げる統一要望事項のうち2項目追加して**要望事項を構成しています。

【富士宮地区労福協の要望事項】

1. 違法盛土・富士山噴火想定の見直しに対する対策の情報提供
2. 市の補助金・助成金・給付金制度の分かりやすい情報提供方法
3. 富士宮市立病院におけるインターネット予約システム・QR決済の導入
4. 衣料・革類回収ボックスおよびフードドライブ回収ボックスの拠点増設

【県内統一要望事項】

5. (1) ケアを担う子ども(ヤングケアラー)の実態調査と支援
(2) 企業誘致の強化と「奨学金返還支援助成金制度」からの学生就業支援



小林会長から須藤市長に要望書を提出しつつ、「1万人の労福協会員構成員から集約・厳選した要望であるため、**要望に至った背景を含め吟味、回答いただくとともに、今後の市政に活かしてほしい**」ことを伝えました。これを受け、市長からは要望項目ごとに丁寧な回答と詳細な説明がされたほか、市の取り組みや今後の構想なども説明いただき、**今後も勤労者の要望に真摯に向き合うとともに、未来志向で市政運営を進めたい**との発言をいただきました。

富士宮地区労福協は勤労者からの声を行政に届けるため、今後も活動を続けていきますので、要望事項へのご協力をよろしくお願いいたします。

(要望と回答内容の詳細は労福協ホームページをご覧ください。)

役員視察研修に行ってきました!

2021年12月19日~20日、2年に1度の**労福協役員視察研修**を実施しました。幸い新型コロナウイルス感染症も沈静化しており、感染症への対策を十分検討した上での実施判断となりました。今回は、SDGsの観点に加え、戦後最大級の労働争議や労働災害の現場となった福岡県の世界文化遺産「三池炭鉱」と北九州市エコタウンセンターを訪問し、**エネルギー問題の今昔を通じながら、炭鉱労働者を巡る厳しい歴史背景と、最先端の再生可能エネルギーへの取り組みに触れ、労福協役員としての知見を広げる**ことを目的に役員6名が参加しました。

石炭から再生可能エネルギーへの移り変わりを通じ、その裏側にあった労働者を巡る過酷な歴史や、エネルギー政策の長期的な視点等を学ぶことができました。労福協としてさらに理解を深め、行政への提言活動などに役立てていきます。(参加役員の報告は労福協ホームページをご覧ください。)



「新年の集い」を開催！安心安全の運営に努めました

2022年1月14日（金）に「富士宮地区労福協新年の集い」を富嶽温泉ホテル「花の湯」で開催しました。昨年は、新型コロナウイルス感染症の拡大から開催を見合わせましたので、2年ぶりとなります。例年は労福協会員から100名以上の参加をいただけますが、**本年は52名と半数に参加者を絞り**、鏡開きや会食なども中止とするなど、拡大傾向に転じていた感染症への対策を徹底した上での開催となります。

小林会長から「コロナによる収入減や格差の拡大など、自分の力ではどうにもならないこともあるが、**こういう時代こそ労福協の掲げる“共助の精神”を広げ、働く者同士で助け合いながらコロナ禍にも立ち向かっていきたい**」との挨拶がありました。また、来賓の須藤市長からは「**富士宮市は、助成金や教育・住宅融資の提携などで勤労者を支援しているが、今後も継続を約束したい**」との力強い応援をいただきました。



本年は、会食・歓談を見合わせたことから、早速「若者の会」によるゲームスタートとなり「**ラケットボールリレー**」に挑戦しました。おもちゃのテニスラケットで羽根つきのようにボールをリレーしますが、感染症対策のビニール手袋で手元が滑り悪戦苦闘するチームが続出しました。

ゲームの後は、メインイベントの**大抽選会**。労福協幹事会員や福祉事業団体から提供された商品を中心に豪華賞品を取り揃え、当選者にはマスク越しに笑顔が浮かんでいました。

コロナ禍で制限はあるものの、開催方法を工夫し安全・安心な運営に努めたことで、新年のスタートにあたり、多くの会員の皆様と顔合わせ・心合わせができ、楽しいひと時を過ごすことができました。

いちご狩りイベントを開催しました！

2022年2月26日と3月5日の2週に亘り、「いちご狩りイベント」を開催しました。新型コロナウイルス感染症が依然として心配される環境のため、少人数・近距離・現地集合解散のイベントとして昨年度に続いての開催です。家族や友人で出かける機会が少なくなっていたこともあってか、100名の募集に対しなんと**145組571名**と昨年を大幅に超える応募をいただいたため、枠を少し拡大し**合計で31組119名のみなさまにご参加**いただきました。

さて、会場となる「**いちごやさん**」は富士宮市郊外のいちご農家さんで、昨年もお世話になりました。

練乳のカップを受け取ったら、いちご狩りスタート。両日ともお天気に恵まれ、ハウス内も汗ばむ気温でしたが、参加者の熱気も負けていません。肝心のいちごは大振りで見事な実をつけており、みなさまは、できるだけ大きくて赤くいちごを選んで、パクリパクリと口に運んでいきます。



中には「**40個以上食べた!**」という声も聞かれたほか、「**こんなに立派ないちごが食べられるとは思っていなかった**」との嬉しい声をいただきました。みなさま春の訪れが感じられる中、楽しくお過ごしいただけたのではないかと思います。

労福協では、みなさまにお楽しみいただけるイベントを企画してまいりますので、今年も残念ながら抽選に外れてしまった方も、次の機会にぜひご応募ください！

活動の詳細は「**富士宮地区労福協ホームページ**」を是非ご覧ください！